

受験当日 ペンを尽くすために

◇前日◇

- ・もう一度、集合時間・集合場所・受験校までの所要時間・電車の時刻・入試開始の時刻などを確認しておきます。
- ・受験票に持ち物や注意が書いてある場合が多いです。また、“受験上の注意”などのプリントをもらってきている人もいます。わかっていることでも、一通り目を通しておきましょう。
- ・持ち物と服装を点検しておきます。
- ・前日の学習は、ポイントの確認。あれもこれもと欲張らない。
- ・次の日に備えて、早めに寝ます。すぐに寝つけなくても、静かに横になって目を閉じているだけでもよいのです。

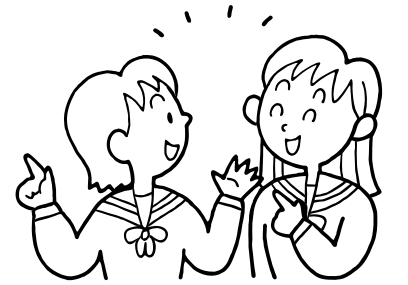
◇試験当日◇

- ・余裕を持ってしたくできるように、早めに起きます。脳も全力が出せるようになるには、3時間くらいはかかります。
- ・朝食は軽くても必ずとり、トイレも済ませましょう。
- ・持ち物をもう一度点検します。
- ・集合時間の30分前には高校に着けるように家を出ます。通勤の時間帯と重なって、交通機関がかなり込むこともあります。また、10日は平日、11日は日・祝日のダイヤになるので、電車などの時刻を間違えないように気をつけましょう。特に、阪急京都線の「北千里」方面と「京都河原町」方面など、電車の乗り間違えをしないように確かめて乗車しましょう。
- ・車中では、大声で話したり、無作法な行動を取らないように。また、他校生をはじめ、乗客の方とトラブルのないようにしてください。
- ・友達と一緒に行く場合は、遅れたときの連絡方法などを打ち合わせておき、時間を決めて先に行くように約束しておきましょう。
- ・自家用車などは避けましょう（交通渋滞などが考えられる）。
- ・途中で何かあっても冷静に判断して行動しましょう。とにかく遅れずに高等学校へ行くことが大切です。どうしても困ったら、十三中（06-6301-2855）に電話をしましょう。例えば、途中で忘れ物をしたことに気がついたとき、時間があれば取りに戻ってもいいですが、時間がなければ中学校に連絡してください（中学校から受験校に連絡をとれるようにします）。
- ・体調が悪く、普通の受験が困難と思われるときは中学校に連絡して下さい。中学校が受験校と連絡を取れるようにします。※インフルエンザの時は必ず中学校に連絡してください。



◇受験校では◇

- ・高等学校に着いたら、まず掲示物に注意します。（注意事項、受験会場について、予定などが書いてあることがあります。）連絡の見落とし、放送の聞きもらしのないように気をつけましょう。
- ・次にトイレの場所を確認しておいて、早めに行っておきます。（なにしろ、大勢が受験します。「後で。」と思っていたら混んでいて、結局1時間がまんするはめに…よくあることです。）
- ・いろいろな人が受けに来ています。トラブルにならないよう、注意しましょう。
- ・自分でも知らない内に気が高ぶることもあるので、心を落ち着け静かに待つようにしてください。休み時間などの過ごし方も気をつけましょう。廊下で騒いだりしないこと。試験のできばえなどの話は避けましょう。（自分ができなかった問題は、他の人にとっても難しいのですから。）
- ・校舎内は関係のない場所をうろうろしてはいけません。
- ・体調が悪くなったなど、困ったことがあれば高等学校の先生に申し出ましょう。



◇テストに臨んで◇

- ・監督の先生の指示をよく聞くこと。
- ・「始め」の合図の前に筆記用具をいじっていたり、近くの席の人としゃべったり、目を見合わせたりしているのは、不審な行為です。指示があるまで、静かに待っていてください。
- ・何気なくしてしまいがちですが、寒いからといってポケットの中に手を入れてカイロをにぎったりしているのも、不審な行為です。
- ・決められたもの以外は、机の上に出してはいけません。
- ・用紙を配られたら指示があるまで用紙は机上に置いて、書くのを待ちます。

- ※ 注意事項をよく読み、監督の先生の指示に従い、枚数などを確認し、最初に解答用紙に受験番号、氏名をていねいに書きます。
- ※ 解答は時間配分を考えて手順良く、やさしい問題からやっていく。記号で答えるのか、そうでないのか、問題の指示を取り違わないようにしましょう。
- ※ 時間が余っても決してきょろきょろしたりしない。
- ※ 誰でもミスはしてしまうものです。最後の一秒まであきらめず、何度も見直しをしましょう。テスト中に寝るのは、「やる気がない」と言っているようなものです。
- ※ 消しゴムを落としたり、質問がある場合は、静かに手を挙げて指示を待ちましょう。
- ※ 筆記用具などの貸し借りは禁物です。

- ・試験が終了したら、係の先生からの連絡や掲示物（面接の連絡・可否の発表・入学手続きなど）に注意し、必要なら生徒手帳にメモをしておきましょう。

◇答案は◇

・ “読んでもらえる答案”を意識して丁寧に書きます。採点する先生達は君たちの事を全く知りません。「この子はこういうつもりで書いたのだろう」というような推測をするわけにもいきません。下の項目は、一部の例です。 “読んでもらおう、”という気持ちで丁寧に書きましょう。

- ×
- 乱雑な字、なぐり書き、マンガ字（極端な時は読めません）は絶対にダメ。
- ×
- 消しゴムで消したつもりがきちんと消えていなくて、その上に重ねて書いた。
- ×
- ーヶ所を消したつもりが、まわりも少し消えてしまっていた。
- ×
- はっきりしない、あるいはくせ字で他の字にも見える。特に記号など（アとカ、シとツ、クとワ、チとテ、ケとク、1と7など）
- ×
- 答えが解答欄から大きくはみ出している、あるいは極端に小さな字、薄い字など読みにくいですね。

◇面接について◇

- ・ 待っている時間が長くても、外出したり、よけいな話をしたりしない。
- ・ 服装をもう一度点検し、用便は指示に従ってすませておくこと。
- ・ 平常の気持ちで、かたくならないように。言葉づかい、態度に注意し、誠実に答えること。

◇試験の後◇

- ・ 郵便で結果が届く学校がほとんどです。落ち着かない気持ちはわかるけれど、ここはぐっとがまんして授業などもきちんと受け、平常心で生活しましょう。“これから”の方が長いのです。
- ・ 掲示発表・合格証交付の学校を受験した人は、いつ頃行くのかを担当の先生と相談しておきましょう。
- ・ 結果がでたら、できるだけ早く 担任の先生に報告(とりあえず電話でも OK)をしましょう。翌日必ず通知を見せてください。
- ・ 受験票は手続きが全部終わるまで、大切に保管しておきます。勝手に捨ててはいけません。

合格の場合

- ・ 有頂天にならず、手続きの方法・期限・登校日なども要項をよくみて確認しておきましょう。
- ・ 専願者は入学金を期限までに納入してください。
- ・ 「合格」で万事終わったものではないのです。これからが始まりで中学校を卒業するまでの行動によって「入学取り消し」もありえます。

不合格の場合

- ・ 不合格の原因は自分の力だけではなく運もあります。投げやりになったり、極度に悲しんだりしないようにしましょう。
- ・ じっくり対策を考え、次の目標（公立高等学校など）に向けて努力すること。

⇒⇒ 確認しよう ⇐⇐

持 ち 物	前 の 夜 チェック	当日の朝 チェック
受験票(注意をよく読んでおく)		
要項・受験の注意等のプリント(もう一度読んでおこう)		
筆記用具（鉛筆やシャープペンシル数本）		
鉛筆削り（簡易型のものがあれば）		
消しゴム（2個）		
直定規・コンパス		
下敷き（使用禁止の学校が多いので注意）		
腕時計なければ置時計（小）（音が鳴らないようにしておく。 計算機能付は禁止。教室に時計が無い場合もあります！）		
生徒手帳（受験校の住所、電話番号、受験番号を控えておく。）		
体育館シューズ（上靴として）		
下足袋		
ハンカチ・ティッシュ（多めに）		
弁当・水筒(外食や買いに出ることはできません)		
電話代（テレホンカード）		
交通費(何があるかわからないので、少し余分に)		
雨具（必要に応じて）		
薬（風邪・喘息・頭痛・乗り物酔いなど必要に応じて）		
カイロ（必要に応じて）		
服装(名札や校章・組章も)・頭髪・爪などはOK？		
実技などのある人はその準備		

- ※ 上記には学校によっては必要ないものもありますし、また、ここには載っていない物(上の一覧表に書き込んでおきましょう)が別に必要な学校もあります。
- ※ 要項や受験票をよく読んで、忘れ物なく万全の態勢で受けられるようにしましょう。
- ※ 携帯電話(学校によっては、はっきりと禁止されています)など不要なものは持っていったはいけません。